

平成 30 年度の

# 長崎市の財政状況をお知らせします

【問い合わせ】 財政課 (☎ 829-1126)

市には3つの会計区分（一般会計・特別会計・企業会計）があり、4月1日～翌年3月31日を一区切りとして、収入・支出の処理をしています。今回お知らせするのは**平成31年3月31日現在**の金額です。

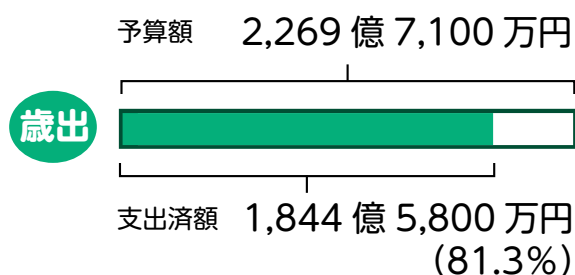
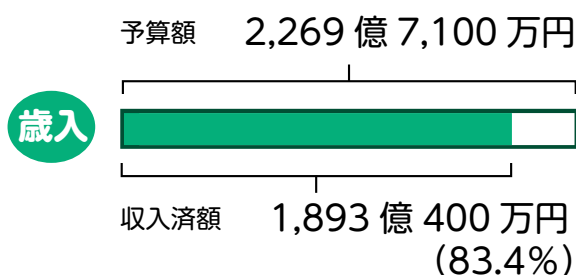
一般会計と特別会計には5月31日まで現金の未収・未払いを整理する期間を設けているので、最終的な金額（決算額）ではありません。



6月と12月の年2回  
お知らせしています!

## 一般会計

福祉サービス、道路や公園の建設、環境衛生など、市が行う仕事の中心となる部分の会計です。市税などが主な財源になっています。



区分	予算額	収入済額	収入率
市税	540 億 6,800 万円	531 億 3,300 万円	98.3%
国庫 <sup>※1</sup> 支出金	576 億 1,200 万円	523 億 3,100 万円	90.8%
地方 <sup>※2</sup> 交付税	341 億 2,500 万円	340 億 9,500 万円	99.9%
市債	341 億 900 万円	159 億 3,100 万円	46.7%
諸収入	52 億 6,700 万円	39 億 1,500 万円	74.3%
その他	417 億 9,000 万円	298 億 9,900 万円	71.5%

区分	予算額	支出済額	執行率
民生費 <sup>※3</sup>	1,023 億 9,300 万円	883 億 6,200 万円	86.3%
公債費 <sup>※4</sup>	220 億 5,600 万円	213 億 4,300 万円	96.8%
総務費	201 億 1,300 万円	167 億 300 万円	83.0%
土木費	256 億 5,800 万円	151 億 1,100 万円	58.9%
教育費	207 億 4,100 万円	127 億 3,300 万円	61.4%
衛生費	121 億 6,600 万円	101 億 2,700 万円	83.2%
その他	238 億 4,400 万円	200 億 7,900 万円	84.2%

※1 特定目的事業の財源として国が地方に交付する補助金など

※2 国が所得税、法人税など国税の一定割合を市の財政力などに応じて交付するもの

※3 原爆被爆者や子ども、高齢者、障害者福祉などの経費

※4 市債の返済などの経費

## 市債は、世代間で事業費を公平に負担するために発行しています

(市債の状況)

市債とは、学校や道路、下水道など長期間使うものの建設や、災害復旧工事などを行うための借金のことです。市債で事業をすることで、長く使うものを将来の住民にも負担してもらうことができ、世代間で公平な負担ができます。

内訳は、右のとおりです。借りた市債は、一般会計では公債費で返済することになります。

区分	平成 30 年度末市債残高見込み
一般会計	2,579 億 8,800 万円
特別会計	163 億 9,400 万円
企業会計	888 億 1,500 万円
合計	3,631 億 9,700 万円

## 特別会計

国民健康保険や介護保険事業、駐車場事業など特定の収入（保険料や使用料など）で、その事業の支出をまかなう会計です。

予算額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
1,233 億 2,600 万円	1,075 億 6,400 万円	87.2%	1,085 億 6,600 万円	88.0%

## 企業会計

その事業の収益（使用料など）で支出をまかない経営を行う独立採算制の会計です。

**収益的収入と支出** 企業の経営活動により発生する収益と、それに対応する費用

**資本的収入と支出** 企業の将来の経営活動に備えて行う建設改良費や企業債償還金などの支出と、その財源となる収入

水道事業会計

区分	予算額	執行額	執行率
収益的	収入	117 億 9,800 万円	118 億 8,800 万円 100.8%
	支出	101 億 9,400 万円	98 億 6,200 万円 96.7%
資本的	収入	14 億 6,400 万円	11 億 8,600 万円 81.0%
	支出	72 億 400 万円	59 億 8,800 万円 83.1%

下水道事業会計

区分	予算額	執行額	執行率
収益的	収入	135 億 5,100 万円	134 億 9,600 万円 99.6%
	支出	118 億 6,000 万円	115 億 7,500 万円 97.6%
資本的	収入	76 億 7,200 万円	58 億 4,400 万円 76.2%
	支出	123 億 9,400 万円	103 億 3,400 万円 83.4%



3つの会計区分を使って適切な財政運営を行っています

## 市の財産

地域センターの土地、建物や公園の遊具などの財産があります。

種別	金額
土地	2,457 億 6,100 万円
建物	2,705 億 2,000 万円
工作物	794 億 3,600 万円
その他	232 億 3,100 万円
合計	6,189 億 4,800 万円

## 一時借入金の状況

一会計年度内において、収入と支出の一時的な不均衡による支払資金の不足を補うための一時的な借入金です。平成 31 年 3 月 31 日現在、一時借入金はありません（全会計合計）。

## 市民の税負担

平成 31 年 3 月 31 日現在の長崎市人口・世帯数で算出しています。

市民の税負担（予算額）	
129,040 円/人	260,636 円/世帯

## 今後の財政運営について

長崎市の財政状況は、これまでの行財政改革の取り組みなどによって少しずつ改善しています。

今後5年間の中期財政見通しでは、次の時代の長崎の基盤づくりにつながる大型事業の実施などにより、歳入・歳出ともに全体的に高い水準で推移していきますが、財政収支のバランスを保つことができると見込んでいます。地方交付税の減少、公債費負担の増加に備え、基金残高を一定確保するなど、自律的な財政運営に努めながら、地方創生に係る施策などの未来への投資や、子育てや福祉など市民が暮らしやすさを実感できる取り組みを実施しつつ、人口減少克服や地域経済の活性化を図っていきます。

暮らしやすいまちを  
目指していきます！

